

日本工学院専門学校		開講年度	2019年度		科目名	テクニカル2	
科目基礎情報							
開設学科	ミュージックカレッジ科		コース名	プレイヤーコース（ベース専攻）		開設期	後期
対象年次	1年次		科目区分	必修		時間数	30時間
単位数	1単位					授業形態	演習
教科書/教材	必要に応じて譜面、資料等を配布する。						
担当教員情報							
担当教員	上野 一郎			実務経験の有無・職種	有・プロベーシスト		
学習目的							
この科目を受講する学生は、ベーシストとしての基礎を固めると同時に、音楽をより深く理解し、イメージを持って演奏出来るようになることを目指す。 ダイアトニックコードスケールや他のスケールを徹底的に反復練習を行い習得する。 またフィンガリングトレーニングやコード分散和音など基礎的な技術・知識を習得し、アンサンブルにおける正確なリズム、フレーズを提供できるようにトレーニングする。オリジナル楽曲でのベースライン構築を行えるように基礎技術と基礎知識を身に付けることを目的とする。							
到達目標							
ベーシストとしての基礎をしっかりと身に付けること。1年次修了ライブでのオリジナル楽曲のベースラインを作成し弾くことを目標とする。 また基礎知識・基礎技術を身に付け、多ジャンルの楽曲に対応できるようにする。 ジャンルに分かれたベースラインを分析しその機能を理解し、自分の中でのベースラインのアイディアを蓄積することもプロフェッショナルとして必要である。そのためには基礎技術、知識を徹底的に習得することも目標の1つとする。							
教育方法等							
授業概要	この授業では、基本的なリズムやビートなどのベーシストにとって重要な概念の理解とその演奏能力の向上、音楽理論の基礎概念の理解を中心に授業を進める。 フィンガリングトレーニング、スケール、コード構成音、トラディショナルチューンの譜読み等フィジカル・メカニカルなトレーニングが主となり楽器自体をコントロールできるようなレッスンを行っていく。						
注意点	この授業では、授業中の私語や受講態度などには厳しく対応する。提出率が4分の3を満たしていない者、4分の3以上出席しない者は進級できない。 配布資料・譜面は毎回持参、毎回行ったレッスン内容の反復練習を欠かさず行う事。 特にフィンガートレーニングは毎日の日課にするよう行っていく事。						
評価方法	種別	割合	備 考				
	試験・課題	50%	試験と課題を総合的に評価する				
	小テスト	10%	授業内容の理解度を確認するために実施する				
	レポート	10%	授業内容の理解度を確認するために実施する				
	成果発表 (口頭・実技)	20%	授業時間内に行われる発表方法、内容について評価する				
	平常点	10%	積極的な授業参加度、授業態度によって評価する				
授業計画（1回～15回）							
回	授業内容			各回の到達目標			
1回	スケールの理解と運指①			ダイアトニックコードとスケールについての理解			
2回	スケールの理解と運指②			ドリアンスケールの理解			
3回	スケールの理解と運指③			ドリアンスケールと調性の理解			
4回	スケールの理解と運指④			ブルーススケールと調性についての理解 シャッフルビートについての理解			
5回	楽曲スタイルによるベースライン①			ブルース形式の理解と演奏			
6回	楽曲スタイルによるベースライン②			ブルースのコード進行とスケールについての理解			
7回	リズムによるフィンガリング①			16ビートの様々なエクササイズ			
8回	リズムによるフィンガリング②			16ビートフレーズの正確な演奏			
9回	リズムによるフィンガリング③			16ビートフレーズの構成についての理解と正確な演奏			
10回	リズムによるフィンガリング④			16ビートのリズムの構成、シンコペーションの理解			
11回	構成音とベースライン			コードトーンのアルペジオについての理解			
12回	構成音とビートの考察①			16ビートフレーズの正確な演奏			
13回	構成音とビートの考察②			16ビートフレーズとダウンビートの関係の把握、正確な演奏			
14回	構成音とビートの考察③			アルペジオのフレーズについての理解			
15回	1年次総まとめ			全体を正確に演奏し切る集中力			